京城日報　夕刊
京城府太平通一丁目　京城日報社

北支事變　一刻一刻重大化

擧國賛意を表す　滿洲國總理談話發表

【新京十二日同盟】張國務總理は今回の北支事變に際し十二日正午國務院において左の如き談話を發表した「今回の北支事變に際して日本政府の聲明は誠に公明正大である滿洲帝國としても擧國全幅の賛意を表するものである支那が速かに容共抗日政策を捨て明朗なる東亞建設のため提携するに至らんことを期待する」

全面的衝突つひに不可避　昨夜現地交渉成立せるに拘らず　不法にも支那軍また發砲

【北平十二日同盟】十一日午後一時支那側は日本側の提示せる項目を原則的に應諾し更に折衝を重ねた結果、日本側の希望を完全に容れて四項目を決定　十一日午後八時支那側代表は右覺書に正式調印を了してこれを日本側代表松井特務機關長に手交した、かくてさしも紛糾を極めた蘆溝橋事件もまる四晝夜にして一と先づ一段落となつた、尚右の各條項が完全に履行されるまではなほ即時解決とは斷じ得ないので日本側は依然警戒を許さず支那側の誠意ある約束履行を注視してゐる

【東京電話】十二日午後一時陸軍省に達した現地よりの報告によればわが軍は昨夜（十一日）の支那側との申合せによつて所定の地位に撤退したるところ　支那軍の態度は俄然變化を示しわが方に對して敵對攻撃前進の氣勢を示し第一線部隊は我れに向つて射撃を開始し本日（十二日）午前十一時彼我の體勢急變し事態は向ふ側の不信行爲により又もや重大化するに至りわが現地當局は重大決意をするに至つた

【天津十二日同盟】支那駐屯軍司令部は昨夜協定成立後の支那兵の不法射撃並に支那側の不法不信行爲を極めて憤慨し今後支那側の出様如何によつては事態は急轉直下惡化し全面的衝突は遂に不可避となる模樣である

國民政府、逆襲的聲明

【南京十一日同盟】外交部は十一日午後十一時最初の長文の公式聲明を發表、事件經過を內外に聲明した、その內容は今回の事件は全く日本側の計畫的行動であると強辯し蘆溝橋における日本軍の演習行爲は非合法なりとし且つ兩軍の衝突は一旦成立せる停戰協定を日本側の援兵來着により破壞されたためで一切の責任は日本軍が負ふべきであるとし支那側が逸早く中央軍飛行隊を北上せしめたことを棚に上げ責任を轉嫁し、次いで支那の國策は對外的には平和を擁護し對內的には生産建設に努力するにあり、日支間の諸懸案は平等互惠の精神を以て解決を圖らんとするものである、速かに日本軍は戰鬪行爲を停止し前約に從つて再衝突を避け不祥事の再發を阻止すれば事態の好轉を招來し得るであらう、と事件解決に對する支那側の責任を全く回避し逆襲的態度を以て終始し支那側の非を全く棚に上げてゐる

日高、陳會談

【南京十一日同盟】日高參事官は本省の緊急訓令に基き十一日午前外交部長王寵惠氏、軍政部長何應欽氏に會見を申込んだが王何兩部長共に外出中で居所不明と稱して會見を回避したので、日高參事官は外交部次長陳介氏と會見、本省の重大決意を傳へ「第二十九軍の我が方に對する挑戰行動を繰返し且つ支那側が虛僞の說を流布して民論を煽動するに於いてはこれによつて起るべき一切の不祥事に對する責は支那にある」旨警告し支那側の挑戰行爲及び民衆煽動即時停止を嚴重警告した、これに對して陳介次長は支那側の情報を提出し「事件が更に擴大せばその責任は全然日本にあり、若し日本にして出兵のことあらば益々事態を紛糾せしめ問題の解決を困難ならしめる」と陳次長は事態がこの上擴大すれば支那側も輿論に押されて自衞行動に出づるやも知れずとのべた

警戒線前進

【東京電話】十二日午前九時陸軍省公電によれば蘆溝橋附近の支那兵はその警戒線の一部を昨十一日夜の線より前進せしめ、またその裝甲列車は長辛店に到着しあるが如し

青島居留民保護

【青島十二日同盟】大鷹總領事は十日門脇領事を青島市政府に派し我が居留民の保護に萬全を期するやう要求したに對し市政府當局もこれを諒承遺憾なきを期する旨十一日回答あつた

杉山陸相　閑院宮邸伺候

【東京電話】杉山陸相は十二日午前十時五十分永田町の閑院宮邸に伺候、參謀總長宮殿下に謁を賜はり軍務につき種々御協議申上げた

香月中將北行

赴任の途次京城に一泊した支那駐屯軍司令官香月中將は昨夜南總督に川島第二十師團長と會談を遂げ、また十二日午前三時平北國境防衞機關から歸任した小磯朝鮮軍司令官と約二時間に亙り重要會談をなして後、午前七時二十五分京城飛行場發旅客機で一路北行した

中央軍の北上活潑　平漢線は全く戰時狀態

【天津十二日同盟】中央軍の北上は益々活潑となり劉峙の第二路軍、龐炳勛の第四十軍は十一日朝來行動を開始、續々北上しつゝあり、平漢線は全く戰時狀態を呈し中央軍の敵對行爲は益々明瞭となるに至つた

陸軍省發表

【東京電話】十二日午前十一時陸軍省發表

一、諸情報によれば平漢線方面の支那軍は昨十一日既に北上を開始し高樹勛軍及び馮占海軍は保定より涿州及び琉璃河（北平西南約十二、三里）方面に、また商震軍及び龐炳勛軍は彰德及び順德方面より石家莊、保定（北平西南約三十五里）間の地區に更に中央軍の劉峙部隊は開封及び鄭州より順德（保定南方約五十里）に向けそれぞれ移動中にして別に鹿鍾麟軍は去る九日以來津浦線沿線に兵力の集結中なるが如し

二、かねて平津地方において極秘裡に布置せられありし藍衣社系の積極分子はその假面を脱して急遽各地において活潑なる活動を開始し共產黨匪に各地の煽動工作と相呼應して一般民衆の抗日氣勢を釀成しつゝあり

三、昨十一日夜協定成立直後においても支那軍は撤退の模樣なく第一線を推進し蘆溝橋東方地區にある我監視部隊に對して發砲せり、なほ裝甲列車數ヶ團は既に長辛店（永定河右岸）に到着せるものゝ如し

廿九軍の正體

今回事變の中心となつてゐる冀察軍閥二十九軍は、黃郛、殷汝耕の後をうけ冀察新政權成立と共に察哈爾省から花のお江戸の北平に飛び出たいはゞ山家育ちの兵隊でその首腦である宋哲元氏は宛然ら本府總仲の觀がある、冀察政權の勢力の增大と共に三十七師長の馮治安三十八師長の張自忠（天津市長）、百四十三師長の劉汝明等を主とする軍人派の勢力が增大したがいづれも馮玉祥くづれの軍人である、宋哲元氏のブレーンである北平市長秦德純氏も元馮玉祥の下にあつたのが、馮の沒落と共に宋氏に從つた、冀察政權はこれらの山家育ちの軍人と舊軍閥官僚上りの人々及び日本側に連絡をもつことを唯一のたのみとする小才子連中の寄合世帶でありその基礎は極めて脆弱で國民政府の中央化切崩しに對抗するには餘りに統制がなさすぎる狀態である（寫眞は上から宋哲元、秦德純、馮治安、張自忠氏）

北支へ派遣　在留同胞保護に當る

時局の重大なるに鑑み本府では數日中に高等官一名、屬官數名を北平大使館及び天津總領事館に應援のため派遣し北支在住二萬の朝鮮人保護に當り更に軍當局との連絡及び混沌たる北支の情報をこれら派遣員から正確且敏速に受理することゝなつた、右に關し南總督の命を受けて十二日午後から三橋本府警務局長と松澤本府外事課長との間に派遣員の人選その他重要問題を協議することゝなつた

人

◇ヘレン・ケラー女史　十二日午後十時卅五分入城朝鮮ホテルへ

氣にかゝるのは　朝鮮同胞の身の上　南總督時局談

北支の風雲急なる時十二日午後一時、南總督は本府出入記者團を總督室に招き左の如き話をなした

蘆溝橋事件以來朝鮮として氣にかゝることは、現在北支にゐる**朝鮮**人同胞の身の上である、現に冀東政府支配下に三千餘名、冀察政權下に一萬二、三千人が居住してゐる、これ等の人々は勿論帝國の臣民であるが故に外務官憲の掩護下にあつて生命財産は安全とは信ずるが、かゝる事件が起つて見れば排日抗日によつて一部民間團體軍紀の嚴ならざる軍隊によつて如何なる不慮の災難を受けてゐるかを考慮せねばならぬ、我が半島の人々は深くその成行きを考慮せねばならぬ、現に我々としても適當なる人を北支に派遣して天津總領事館**北平**大使館等機關の補助となり一つには朝鮮人民衆の保護指導等に最善の努力を拂はしめ又は同地との連絡北支の實相に通ぜしめることとした、梅津何應欽協定成立は昭和八年の夏であつた、爾來四年間北支の天地は常に明朗を缺き色々の出來事があつた、或は停戰協定に違背して熱河を侵さんとするたゞ不信を重ね、梅津何應欽協定が出來、爾來これを忠實に守つてゐたならばかゝる事件は起つてゐない、國民政府の瞞着する處とその軍隊及び民間團體等の行爲は相反することがあつた

四年　間は不明朗な天氣であつた、遂には蘆溝橋事件勃發し直ちに兩官憲の協議によつて局地の出來事として解決したかの如くであつたが次いで七月十日には更に衝突事件等が起つた原因は未だ何等の公報に接してゐない、こゝに批判をなす確定意見は出來ない、然し凡そ個人と個人との問題に於ても双方が約束したことを忠實に守つたならばその友情は繼續されると同樣に國家と國家との間に於ても亦然りである

一度　約束後一方に於て不信行爲を行つた時甚だ不信行爲を繰返へされては忍耐の決意は當然である我等東洋人は日滿支相提携することは天命であると日支間は互ひに東洋の使命を知り合つて提携して行きたいことは私の衷心願ふことである、この域に達するまでには紆餘曲折があると云へ、四、五年もつゞくことは愛ふべき事と考へてゐる

時局の推移に正しい認識を　流言蜚語は嚴重取締　半島の治安萬全を期す

時局重大なるに鑑み、本府警務局では十二日午前十時局長室において三橋警務局長以下幹部が參集し、愼重協議の上半島二千萬同胞の治安維持確保に關する具體案を樹立し、直に各道警察部に通牒を發し、本府と各道が緊密なる連絡のもとに治安の萬全を期することに決定した、さらに時局に關する流言蜚語を行ふ者に對しては嚴重なる處分を行ふ方針に決定し、同時に一般民衆は時局の推移に正確なる認識を持ち、愼重な態度で業務に就くことを要望してゐる

天地玄黃

北支事態惡化、皇國武人の措置をなすに決す

×

既に皇軍の死傷五十八名、在住邦人の運命また頻り、この血、この生命、而してこの魂

×

無制限、無反省なる支那側の抗日侮日行爲、隱忍するにも自ら限度がある

×

冀察の統制既にばらばら、これに秩序と治安を與ふるもの、友邦日本の好意の外あるべからず

×

擧國この心を以て起つべく、萬民銃後の支援期待するところ切れ

號外發行

北支事變に關し十一日夜第二號外を發行速報いたしました

お斷り

時局多端ニュース輻湊につき當分の間「曉星双紙」を第六面（商況欄）に「京日特選圍碁」を朝刊第八面（ラヂオ欄）に移します

◇……北支事變參考地圖

山西省　太原　保定　河北省　天津　黃河　山東省　青島　濟南　順德　鄭州　開封　河南省　徐州　江蘇省　南京　揚子江　上海　浙江省　安徽省　湖北省　漢口

支那兵三態

【上】隊伍を整へて行進する支那兵（京漢鐵路前にて）【中】暑さでうだる支那兵（保定にて）【下】変わり種の支那女兵（保定附近にて）

趣味と學藝

三國時代新羅

―金製細環式耳飾―

純金製耳飾は太環式と細環式とあり金色燦然たる裝身具は新羅文化の隆盛を示す(本府博物館藏)

米國の人口 卅五秒に一人

米國では十四秒每に一人の赤ん坊が生れ二十二秒每に一人の死人が出る割合になつて居る、國外に出る者は十四秒半每に一人國外から入國する者が十五秒每に一人、結局米國の人口は卅五秒每に一人殖える割合になつて居る

イギリスの子供買切れ

戴冠式の結果の一ツは戴冠式見物に英國や外國からわざ〳〵やつて來た何百といふ人々がイギリスの赤ん坊を養子に貰ひたがつて、供給よりも需要の方が多いといふ現象である市長や警察や地方長官の許には申込みの手紙が無數に殺到してゐる始末である、しかも現在法律では子供のやりとりを禁止めることは出來ないのである

盲人も自由自在にタイプライター

アメリカの小兒科學會では今度盲人教育についても種々の研究發表がありました、美しく若い盲人ホッフマイマさんは、點字タイプライターをパチ〳〵とやつてその研究を發表しました

殿方……うつかりと投キッス法度

女に投キッスをして二ケ月の禁錮に處せられた男が居る。法廷に於ける双方の言ひ分は、

御婦人であつた

投キッスをした男『彼女にばつたりあつた時、ツッと身に沁むなんとかでふら〳〵と後をつけ、識実のあまり思はず知らず投キッスをしました』

投キッスされた彼女『うるさく付き纏ふ男にはほと〳〵閉口しお巡りさんを呼びました』次で二ケ月禁錮の判決が下された。(カイロの話)

離婚相成らぬ これは珍しい米國の一州

米國四十八州のうち離婚を認めてない州がたつた一つある、南カロライナ州がそれだ、州の憲法に『離婚は本州內に於て之を許さず』と明示されてあるのみならず議會も離婚法制定を肯んぜず裁判所も亦憲法の趣旨に甚だ忠實で『別居』は認めるが離婚を欲する夫婦、就中離婚して他の男又は女と結婚したい者はコツソリと隣のジヨージア州に入込み、そこの裁判所で離婚判決を獲得して居るといふ有樣、南カロライナ州法ではかういふ離婚は勿論無效なのだが州當局では『我々は州內の市民に離婚を認めなければよいので、他州へ移つた者は我々の知つたことぢやない』と嘯いて居る

坐高檢査とは何か

新らしい體格檢査始まる

城大教授の中村兩造先生は語る

今までの身體にあまり問題にされてゐなかつた坐高が俄に問題になつてしかもこれによつて國民體質の體格檢査を行ふといふ、一體坐高とはどんなものであるか、體位上とどんな關係を有つものであるかなほそれが身體檢査になぜ必要なのであるかを京城帝大整形外科中村兩造教授に聞く

◇

坐高とはその言葉の示す如く人が腰掛けて腰掛の正面から頭のてつぺんまでの高さである、この春から文部省令によつて身體檢査の規程が變更され、體位の向上體臘の增進を目的として新規程に比し甚だ實際的になり、朝鮮でもそれに準じてゐる、それで脊柱の機位に脊髓カリエスの有無と胸廓の異常等と共にこの坐高も新しい檢査項目となつた

身長から坐高を引いても下肢の長さにはならないが、下肢の長さの測定は實際上困難なので坐高から下肢の長さの見當を付けたり、坐高から軀の長さを割り出したり、坐高が大ならば內臟器官も大きいと測定したりする

◇

坐高は一般に男の方が女より大きいのではあるが學校の兒童を見ると十一才乃至十四才は男の方が女より身長は大きいのに坐高は小さい、即ち女の方が軀幹の長さが大である、坐高と身長との比率を比坐高といふがこの比坐高が甚だ大である、十五才後になると女の坐高は男のより小であるが比坐高は大である

一般に比坐高は赤ん坊は六〇前後成長するに從つて小さくなるが五〇以下にはならない、机、腰掛の高さなども坐高から割り出すのが合理的で腰掛の高さは下腿の長さ、机の高さは腰掛の高さに坐高の三分の一を加へたものが良いとされてゐる、即ち坐高、比坐高と色々の觀點から眺めるとそこに色々な保健上重要な結論が出て來るわけだ

學生隠語辭典

【シアトル同盟】學生の間に隠語の流行するとは洋の東西を問はぬが、就中米國の學生達の間では多種多樣の言葉が流行、爲めに面喰ふ人も少くない。そこで太平洋岸ワシントン大學總長エドワード・ラウエル博士は誰でも學生の隠語を理解出來る樣にと、この程「米國學生隠語手引」なる一冊を公けにした。目下此の本は飛ぶやうに賣れ、就中父兄達の註文が多いがその中の一例を擧げるとこんなのがある

熱妻(フイーヴアー・ソラウ)……美貌の女學生

セメント攪拌機(セメント・ミクサー)……ダンス

ロールス・ラソ(ロイスに非ず)……學生のボロ自動車

金山(ゴールドマイン)……學園のロメオ

冷藏機(ハニ・ターチー)……接吻

だから「アイム・テイクン・マイ・フイーヴアーフラウ・トウ・ア・セメントミクサー・インナ・ロールスラフ」と言へば「僕はシヤンな女學生を連れて自動車でダンスに行く」

今晩のラヂオ

六時三〇分お話(名)大町文衞▲外地の夕七時三〇分講演(東)拓務大臣大谷尊由▲八時新日本音樂(東)宮城道雄外▲八時三〇分朝鮮音樂(城)金雨塘外▲八時四〇分台南より▲八時五〇分新京より▲九時義太夫(城)竹本東廣

記錄映畫時代 映畫館でも大歡迎

最近の洋畫界は特異な文化記錄映畫が歡迎され⋯社の『Gメンの行動』や東和商事の『探險國境』メトロの『Gメンを語る』等がニュース館ばかりでなく一般映畫館にも盛んに上映されてゐるので洋畫會社ではこの種映畫に力を注いでをり各社が封切を待機してゐるものには左の如き特異篇がある

▲メトロ映畫『Gメンを語る』▲ユナイト映畫(綴救逃亡篇)▲パ社映畫 色彩科學短篇『科學の力』▲ユ社映畫『英帝戴冠式』▲コ社映畫『世界の奇蹟』三篇(動物の不思議、遺物末の習慣、奇蹟のマッチ)▲RKO映畫『ルイズブラドックをKOす』▲桂商事提供大每、東日映畫課製作『ナンダコット征服』

外金剛永朗莊海濱に

海濱 京日キャンプの會

會員を募る 家族連れ歡迎

本社は讀者各位へのサービスとして每年家族連れに向く、樂しい海濱キャンプの會を開催し、本年を以つて第十二回を重ねることになりましたが、從來より、あらゆる點を完備したキャンプ場を選定したいと、本社通信網を總動員して調査の結果、今年は外金剛永朗莊海濱に開くことに決定しました

◇場所 東海岸外金剛永朗莊海濱

◇會期 七月廿三日から同廿九日迄(往き七月廿二日午後十一時京城驛發、歸り七月卅日午前七時五分京城驛着)

◇定員 百名(家族連れの方を歡迎します)

◇會費 大人七圓五十錢、小人四圓八十錢(六才以上滿十二才まで)四、五才は會費一圓五十錢、この會費は京城驛から高城驛三等往復、高城驛、現地間往復自動車賃、荷物運搬、人夫賃、諸施設費、其他に充當

◇申込 七月十八日限り、住所、氏名、年齡明記の上、會費を添へて本社事業部へ(振替京城一一八五)

◇注意 設備、食費、賣店、貸し物携帶品その他金剛山探勝に就いては申込規則書に詳細記載してありますから三錢切手封入の上、本社事業部宛御申越次第お送りします

主催 京城日報社

後援 元山鐵道事務所

不連續線

實踐標語

交叉點を、右によろ〳〵左によろ〳〵と歩いて來る男を見つけて、交通巡査が誰何したが、別に酒に醉つてゐるとも見えなかつた。

『あぶないおやないか』

『私も、さう思ひます』

『さう思ひながら、そんな歩き方をする奴があるか』

『でも、仕方がありません』

『どうして』

『あそこの立看板に、ちやんと書いてあります』

『どれ。どこの』

交通巡査は振り向いた。その男が指さすまでもなく、そこには、交通指導官傳の標語を書いた立看板が立つてゐた。

『踏切る前に右左』

交通巡査は苦笑してしまつた。

パ社下半期陣

パラマウント社の秋の陣容が左の通り決定した、何れも先般の全體會議の結果三七―八年度の前期作品として決定したもので既に全部製作に着手、今秋に順次入荷する筈である

『海の魂』(ヘンリイ・ハサウエイ監督、ゲイリー・クーパー、ジョージ・ラフト、フランセス・デイ主演▲『たくましき男』ルーベン・マムウリアン監督アイリン・ダン、ランドルフ・スコット、ドロシイ・ラムーア主演▲『エンゼル』エルンスト・ルビッチ監督、マレーネ・デイトリッヒ、ハーバート・マーシャル主演▲『帝國の誕生』フランク・ロイド監督ジョエル・マクリー、ボッブ・バーンズ、ライオネル・バリモア主演▲『干潮』(總天然色映畫)ジエームス・ホーガン監督、オスカー・ホモルカ、フランシス・フアーマー、ロイド・ノーラン主演▲『海賊』セシル・B・デミル監督フランツイスカ・ガール主演▲『貴方とわたし』フリッツ・ラング監督、ジョージ・ラフト、シルビア・シドニイ主演▲『一九三八年の大放送』W・C・フイルズ、ジャック・ベニイ其他ラヂオ藝術家總出演▲『ロイドの大學教授』ハロルド・ロイド主演▲『ジヤングルの戀』ドロシイ・ラムア、レイ・ミランド▲『ブールー』フランク・バック作品

馬來半島へ進出 猛獸映畫

PCLの劃期的企畫

外國の獨占となつてゐた猛獸映畫が愈よ日本においても製作されることとなりPCL森プロデユーサーによつて着々その準備が進められてゐる、森氏は既に猛獸映畫製作に關する諸文獻を漁り研究を進めてゐるが製作するからには外國へ出しても恥かしからぬ本格的猛獸映畫を製作すべくロケ地並にその時期について種々研究の結果大體馬來半島をバックとすることになり同氏は明春早々蒐集踏査の爲め上三月頃自ら撮影隊を指揮して同地に出張することになつてゐる、右に就き森氏は語る

日本でも立派な猛獸映畫を作つて見たいと種々研究した結果大體馬來半島を最適地と決定しました、時期は明春三月頃になりますが一度現地に出張して調査した上製作プランを決めようと思つてゐます

映畫ニュース

◇―日活多摩川では今度山本嘉一主演により再び浪曲映畫『乃木將軍』を製作することになつた これは今秋九月十三日の乃木將軍廿五回忌を記念するもので浪曲吹込みは春日井梅鶯、監督は『娘三十人』製作中の田口哲が擔當する

新刊紹介

▲ジヤパン・フオア・ザ・ヤング(鐵道省旅客課編)子供のための英文日本紹介(非賣、鐵道省旅客課)

▲幼年倶樂部(八月號)オモシロクラベ號『動物いけどり畫集』『マンガワ手品大會』等(四十五錢、東京・小石川・音羽、大日本雄辯會講談社)

▲東邦經濟(七月號)『東洋拓殖の全貌』等(五十錢、東京・麴町內幸町大阪ビル、東邦經濟社)

▲國策(七月號)三十錢、東京・牛込・市ケ谷台町、國策社

▲映畫創造(七月號)三十錢、東京・神田・神保町神保町ビル(映畫創造社)

▲獨逸の學校化(E・シユプランガー、岡田俊一譯註)教學刷新の聲喧しい折柄、日獨交換教授のシ博士が述べたドイツの教育狀態を知ることは得る所大であらう(五十錢、東京・牛込・西五軒町三二大學書林)

▲名園(七月號)七十錢、東京・神田・神保町三、アルス

▲朝鮮公論(七月號)五十錢、京城・古市町四十三、朝鮮公論社

▲ポトナム(七月號)四十錢、東京・牛込・新小川町三、ポトナム發行所

▲合萌(七月號)二十錢、大連・柳町三、滿洲短歌會

▲演劇獨語(中村吉藏著)學藝論壇の第七卷で劇作を畢世の仕事として著念すること三十年の著者がその創演劇の窓から見聞きそして書いた評論、時評及び自らその中に登場した劇界の話を纏錄したもので(就中藝術座に就いての記錄は抱月、須磨子を繞る古いロマンスなどまさに芝居以上の興味深い讀物であるが、同時に我が新劇運動史の黎明を語る貴重なる文獻である(一圓五十錢)(東京・麴町・下六番町東苑書房)

▲キング(八月號)妖艶義俠冒險探偵實話、職賞美談、及び短篇小說等々滿載、例によつてグラビアセクションも有益で興味深い(六十錢、東京・小石川・音羽、大日本雄辯會講談社)

▲青年(八月號)青年講座『正しき日本精神』德富蘇峰『人口問題の要點』上田貞次郎『法律と道德』穗積重遠(二十錢、東京・四谷・明治神宮外苑、日本青年館)

▲解剖時代(七月)特輯近衞內閣號(三十錢、東京市神田區司町一ノ四、解剖時代社)

(58) 夕立勘五郎
神田伯治演
藤井耕造畫
前助の一言に仰天

全國民擧つて政府を支持

强力なる擧國一致
全國民の正確な認識が必要
一大國民運動を展開

【東京電話】今次の北支事變は今後の進展如何によつては東亞の全局にも及ぶ一體として、政府は十一日の緊急閣議の結果斷乎派兵を決定すると共に中外に帝國政府の態度を闡明する重大聲明を發し、本問題に對する政府の態度を明かにしたが政府の意圖するところは

今次事變の發生は偶發的のものであるかも知れないが、そのよつて來るところは多年に亘る支那側の侮日抗日風潮の結果であるとなし、支那側の不信及び抗日侮日によつて最近の日支關係は全く行詰り、何等かの局面打開の必要に迫られてゐる時に勃發したと云ふ點に重大な意義を有するものである、この機會において支那側の侮日抗日的態度を徹底的に清算せしめねばならぬ

と云ふ根本方針の下に事態の徒らなる擴大は勿論これを極力防止するが從來の如き平和手段による解決が望まれない以上、飽くまで兵力を背景として我正當なる主張を徹底せしめ、現地折衝を行ふ一方苟くも彼より抗日侮日運動が行はれる場合は徹底的にこれを排擊して、帝國の態度と共に支那の對日態度を根本的に是正し得るまで斷じて徹底的たる態度で終始するに決し、十一日夜先づ言論界、貴族院、財界各方面の有力者の代表者を首相官邸に招致し擧國的支援を求めたが、かくの如き擧國的支援は未だこれのみでは不十分で、全國民に對し時局の重大性を徹底的に認識せしめ、日淸、日露兩戰役における如き擧國一致の實を擧げんがためには言論界とも緊密な連絡を保つて一大國民運動を展開し、時局の性質は勿論、現支那の全貌、日支關係の現狀、東亞における帝國の地位などについて國民に正確な認識を與ふべく、風見書記官長の手許で具體的準備に着手することになつた

飽迄も政府を支持
衆議院各代議士會で決定

【東京電話】衆議院の各派交渉會では今次北支事變に政府より擧國一致の支援方を要望せられたに對して、態度決定のため十二日午前十時衆議院各派代議士會を開き、望月圭介氏より十一日夜の近衞首相招待會の經過報告に結果を報告、之に基き意見交換の結果あくまで政府を支持し速かに事態の根本的解決に邁進せしめることに決定、十一時半散會した

財界人は皇軍に信賴
政府を全的に支持
加藤鮮銀總裁は語る

【東京支社特電】北支事變重大化に鑑み十一日夜、財界各方面の重鎭と共に首相官邸に招かれ財界の協力を要請された加藤鮮銀總裁は十二日朝來關係各方面と協力打合せのため奔走してゐるが、氏は今回の事變に對して大要左の如く語つた

昨晩 首相官邸に招かれた時首相も陸相も朝野協力一致して極めて圓滿に事態を收拾しこれ以上擴大せしめぬやう萬全の方策を取るべく努力して居られた、殊に北支開發に重大關心を有する鮮銀としてはそれを最も望んでゐるが、支那側の態度がここに至つては全く論外である、こんな時にこそ全く擧國一致奉公の誠を盡し聖慮を安んじ奉らなければならぬ、又この

擧國 一致が出來ることが上御一人を戴いてゐる日本人のみに與へられた特權だと思ふ、こゝ久しく支那は我國の對支經濟工作に對し、抗日意識を持つて不誠意を極めて來たが、こんなことで東洋平和の大乘的見地に則る日支の互惠提携が出來るわけのものではない、今こそこの抗日意識を撲滅して東亞永遠の和平を樹立すべき機會かもしれない、心配になるのは爲替の水準保持だが

我々 財界人は皇軍に信賴して飽くまで大國的態度を持し沈著冷靜に政府を全幅的に支持して、東洋のため最もよき結果を得ることを望んで已まない

わが重大決意を告げ
斷乎猛省を促す
出先三代表が王部長を訪問

【東京十二日同盟】日高參事官は十二日午前十時大使館に中原、大城戸兩武官の來訪を求め本省の重大訓令に基き協議の結果同十一時三人揃つて外交部を訪問王寵惠部長と會見、右會見では支那側陳介次長も列席したる上、先づ日高參事官は嚴肅なる態度を以て臨み、今次事件に對する帝國政府の重大決意を告げて支那側の不法行爲に對し斷乎猛省を促すと共に、外交部の不信極まる責任轉嫁論を難詰したる後、日高參事官は更に抗日教育の全面的禁止その他諸懸案の解決促進につき支那側の注意を喚起した、次いで中原、大城戸兩武官も出先陸海軍當局を代表して決意を述べ、かくて會談は一時間に及んだ

緊張せる首相官邸（上）と五相會議に臨む米內、杉山兩相（下）

擧國支持
民政黨決定

【東京電話】民政黨は北支事變に對する黨の態度を決定するため十一日午後十一時から本部に緊急總務會を開き町田總裁より政府側との會見顛末並びに上述べた挨拶を說明し一同之を諒として協議の結果別項の如き申合せを發表し更に十二日午前十時から本部において幹部會、同十一時半より總務會を開いて正式に擧國一致政府支持の態度を決定した

申合せ 東洋平和の大局を維持し共同依存の大義を確立するは實に帝國の使命なり、然るに支那は大局を見るの明なく排日侮日の不法を恣にし遂に今回の事變を惹起するに至れり、我黨は事變の重大性に鑑み政府の執れる斷乎たる處置に國民的支援を與へ本件の徹底的解決を期すると共に支那が一日も速かに反省の實を擧げんことを望む

四雜誌社代表に支援を要望

【東京電話】政府は時局に對處、擧國一致協力の實をあぐべく各層の代表を首相官邸に招き支援を要望したが、十二日午後三時より中央公論、改造、日本評論、文藝春秋の四雜誌社長、編輯長を官邸に招致し支援を要望することゝなつた

支那軍の飛行隊

圖に乘る支那兵
度び重なる不信行爲

【天津十二日同盟】十一日夜支那兵の不法射擊は盧溝橋附近の我部隊が豐台方面に集結したる後、寶山附近の支那兵が盧溝橋北方二キロの地點より北東盧溝橋寄りの鐵道沿線に進擊し來りたる事件にして、同時に永定河高地よりも我監視哨に向け猛烈な射擊を開始したが、我方は飽くまで事態の擴大を避けて應戰せず、この我方の沈默に支那側は益々圖に乘る形勢あり、我當局は支那側の度び重なる不信行爲を極度に重大視し、今や極めて重大なる結果を招來するやも知れず、しかもその責は一に支那側にありといはねばならぬ

香月司令官○○に到着

【○○十二日同盟】十一日飛行機で立川を出發した新任支那駐屯軍司令官香月中將は十二日午前十一時十分○○より○○に到着した

事變擴大を煽動し
軍事同盟を仄す
蘇聯特務機關の重要人物が
支那要人連と會見

【上海十二日同盟】盧溝橋事變突發を契機にソヴエート特務機關の蠢動は頓に活潑となり、同機關主要人物などは去る十日南京に赴き國民政府軍政部要人及び極左分子と會見『日本は表面強硬態度を示してゐるも國內外の情勢に制肘され、全面的戰爭の發端をなし、從つて支那はこの機會に乘じて積極的抗日戰爭に乘出すべきである』と事態擴大を煽動し『若し支那が希望するならば兵器彈藥の供給はもとより、更に進んで蘇支軍事同盟をも締結する意思あり』とほのめかした、他方之と併行してソヴエート武官は事變發生の當日突如上海より姿を晦しその後消息を絶つたが右は平漢線方面へ北上したとの說あり、又コミンテルンの有力者數名はすでに隴海線方面に潛入二十九軍麾下の下級兵士と緊密な連絡をとりつゝ或る種の工作をなしてゐる模樣である

非公式元帥軍事參議官會議

【東京電話】陸軍では十二日午後三時二十分より陸相官邸において非公式元帥軍事參議官會議を催し、梨本元帥宮殿下、朝香、東久邇兩軍事參議官宮殿下を始め奉り、杉山陸相、寺內教育總監及び軍事參議官並びに後宮軍務局長等出席、當面の北支事變につき重要協議をなした

支那軍前進
陸軍省發表

【東京電話】十二日午前十一時二十分陸軍省發表 十二日午前十時四十分濟電によれば八寶山附近の支那軍は現在の位置を捨てわが軍に向ひ前進せり

"兵力を移動せず"と
韓氏は言明
山東省の人心は安定

【濟南十二日同盟】石野濟南特務機關長は十一日山東省政府主席韓復榘氏と會見、山東省內の人心安定並に我が居留民保護に關して懇談した、韓氏は日本人の保護については出來るだけ努力し期待に副ふやう努力する旨言明へこの際兵力を原駐地より何れへも移動する意思はないと言明した、目下山東省內の人心は安定し何等不安はない

盧山では狼狽

【漢口十二日同盟】盧山の國民政府出張部は北支事變に對する日本の態度に甚く狼狽の色あり、各要人は緊急協議を重ねると共に各地方の動搖に備へて當該地方の軍政首腦部を至急に任地に歸任せしめるに決定した

乘ぜられる樣な事は
斷じてない
森島參事官は語る

【釜山電話】北支の風雲急激化と共に急遽北平に向け急ぐ駐支大使館參事官森島守人氏は、十二日夕入港の連絡船にて釜山に上陸、直ちに六時五十分發特急で北行したが左の如く語る

今回 の事變に對する我國の態度は飽迄も公正明朗であつて、終始一貫和平的解決を希望してゐるが、事件に期待に反する行爲をして冀察政權の反省を促して居るのである、北支の中央化政策的方針をとる南京政府の出方一つによつて左右されるものと觀測されるが、我方としては一定不變の方針を執つてゐるから、彼等の小刀細工に乘ぜられる樣なことは斷じてない、

今回 の事變に對する英米の國際關係は對支問題に關する限り日本の存在を無視するわけに行かぬから、惡辣なことはあり得ないと思ふ、蔣介石も又今迄の抗日侮日的行動に對して陳謝をするかも知れぬが、それも恐らくあるまいと思ふ

盧溝橋支那軍
撤退を肯ぜず

【天津十二日同盟】盧溝橋一帶に蟠踞の冀察軍は今なほ金振中旅長、吉星文團長などの率ゆる約四百有力な支那軍が撤退を肯ぜず陣地して居り、協定不履行の態度が我が監視部隊に對し挑戰行爲に出て居る

監視を繼續

【北平十二日同盟】日支兩軍の撤退協定が成立したので昨夜來日支兩軍の戰鬪は完全に中止され、日本軍は協定に基づき現地に監視中であるが、何方支那軍はいまだに不法盧溝橋に居据り、八寶山にある支那兵は昨夜十時から今曉一時まで三回に亘り散發的な射擊を行ひ、我軍に挑戰するかの不遜な態度を示したが、之に對し我軍は一彈も應戰することなく只管自重して解決條項の明實なる履行を監視して毅然たる態度を持して居る

宋氏の速かな決斷を期待

【北平十二日同盟】宋哲元氏は十二日北平入城する豫定であるが今次事變は宋哲元氏不在中に發生し、冀察側において責任を以てこれを處理する者がなかつたゝめ解決が遲延する結果となつたが、宋哲元氏の歸任により冀察側の最高人物を得た譯で、今後支那側との交渉につき諸事につけ宋氏の速かなる決斷が期待されてゐる

北平市の門片側だけ開扉

【北平十二日同盟】支那側は盧溝橋事件勃發と同時に北平市內に戒嚴令を布き、各城門を堅く閉し一切城內外の交通を禁止し民心極度に不安に脅かされてゐるが、十二日午前より漸く片側だけ門扉を開き武裝いかめしい支那兵が監視して一般人の通行を許すこととなつた、然し身體檢査は極めて嚴重なので市民は依然恟々たるものがある

上海市政府早くも避難準備に着手

【上海十二日同盟】北支の情勢急迫と共に上海市政府は早くも避難準備に着手し、重要書類は既に十一日夜來共同租界とフランス租界內の某所に移轉されたと云はれる

鳩山氏の外遊

【東京電話】鳩山一郎氏は來る十八日午後九時四十分東京驛發外遊の途に上る豫定であるが、今回の北支事變の勃發により若し更に事端が擴大し時局重大化する場合は外遊中止も止むなきも、この點に關しては十二日代行委員會にかて自己の意中を明かにし、事件の推移を重大視し最後の方針を決定する筈

相川勝六氏赴任

本府外事課長より宮崎縣知事に榮轉した相川勝六氏は、夫人家族同伴十二日午後四時十五分發『あかつき』で官民多數の見送りを受けて赴任した

近藤秘書官東京發

【東京支社特電】總督府秘書官近藤儀一氏は十二日午前九時東京驛發『つばめ』で赴任の途についた、途中郷里福岡に下車一泊し、十四日同地發、十五日『のぞみ』で京城着

殘存米
第二次發表

【東京電話】第二次臨時米穀調査農林省發表 本年七月一日現在米穀現在高ほか十八地方の分左の如し

種別	數量
內地米	一〇、五八三、六〇三
朝鮮米	三二六、三一四
臺灣米	一八八、八五一
外國米	三、一二三
合計	一一、〇九一、八九一
前年同期比較增	八六、三五五

＝人＝

◇三木朝鮮軍軍醫部長 十日夜新義州より歸城

◇大野鮮銀南浦支店長 入城中

◇一杉總督府警察部長 十一日夜歸任

◇三上仲氏（黃海道地方課長）十一日新任挨拶のため本府來訪、十三日『のぞみ』で赴任

◇宇野友八氏（京畿道警察部長）

◇山中大吉氏（鐵道士）十一日夜平壤へ

◇飯田四郞少將（元羅南步兵旅團長）十一日入城山本旅館へ

◇高橋敏氏 十一日朝入城

◇河口夏氏 十六日午後二時半大邱より歸任

◇伊森府鐵道取締 朱乙溫泉より廿一日歸城のはず

◇大野警察本部長 豫定を變更して十二日午後二時十五分歸城

◇河原田昭氏（宇部セメント重役）十一日夜入城

◇柴田善三郎氏 事業のため入城中十四日午後四時十分發あかつきで歸京

◇西崎鶴司氏（鐵道局理事）東上中十二日『あかつき』で歸任

◇二宮憲兵隊司令官 十二日『のぞみ』で大邱より歸任

◇美座同局監察官 同上

◇山地靖之氏（本府理財課長）十二日『のぞみ』で着任

◇酒井源輔氏 十一日午後東上

社說　正義の一斷

北支の風雲急を告げ、政府は北支派兵に關し、所要の措置を爲すに決し、事態は極めて重大となつた。今日の日支關係は、全面的に停頓狀態の中にあり、上下非常な緊張感を抱懷してゐる時、八日早曉北平郊外蘆溝橋附近、廿九軍の一部隊が惹起つた事態は、日支關係處理の上に巨大な一石を投じたものである。

滿洲事變以後における北支の位置は極めて特殊的であると同時に重大性を帶びてゐることは今更いふまでもないが、昭和十年冀察政務委員會成立以來の北支は、日支國交上特別重要な地位を占むるに至つた。ところが此の冀察政務委員會の實力的背景をなす廿九軍なるものは、その昔馮玉祥軍の中心部隊をなしたもので、國民革命に活動した鋭兵であり、根強き抗日思想の持主で、然かも馮後長成の觀では最も猛烈に皇軍に抵抗したものである。

×

冀察政務委員會成立以後、宋哲元がその首腦となつてから、宋氏の親日態度に對する廿九軍の腹中は推して知るべく、而も宋氏と廿九軍との關係は面白からず、從つて宋氏の言動にも矛盾が多かつた。昨年六月廿九軍兵士が豐台にて我が將校に對する侮辱事件があつて以來、屢々日支兩軍の間に面白からざる事が起り、廿九軍の抗日的反抗的氣勢は益々高まり來り、これがため政治的、經濟的諸問題の解決は阻まれ、宋哲元は遂に郷里樂陵に引込んで歸任せず今日に至つた。一方南京政府の北支中央化政策は、愈々北支における抗日氣運を助長し、諸種の抗日工作が計畫された。八日早曉の蘆溝橋事變の如きも全く計畫的であり、幸ひにして我軍の果敢敏捷なる行動は支那側をして事件の擴大を阻止せしめたが、その後における支那側の態度は、不誠意、不遜を極め、愈々日軍行動を擴大するに鑑み、愛に自衞上北支派兵の措置を決するに立到つた。

×

支那における排日侮日の不法事態の行動は、殆ど無數といふべく、しかもそれらが從來一として解決されてゐない。それはかりでなく他のすべての外交交渉も全く停頓狀態である。日本は支那の國狀に鑑み、今日まで隱忍平和的解決をのみ之に望んで來たのであるが、支那側は反つて、日本の忍耐と寛容的態度を以て狙し易しといつた態度に出で、不法暴慢の限りをつくして省みることをせぬ。これといふのも結局多年に亘る支那の排日教育と、無知無法狂暴なる支那軍兵と、赤色思想に囚はれたる獨善中堅將校と、指導根本を誤れる爲政者との總和が、無反省に無分別に行動するとに原因するものである。その禍を萃き惡夢を一掃するためには、正義の一斷また止むを得ざる次第である。我等は皇軍の威力に信頼し、一億同胞一心となつて皇軍の活動を支援し、皇軍をして何等後顧の憂ひなく膺懲目途の活動をなさしめねばならぬ。

全面的の金融硬化で金組も貸出に手心
但し小口貸付には多少考慮
各道支部會議で組合に達示

金融硬化、手形資金難で地方銀行は貸出警戒を行つてゐる關係上、資金の需要者は金組貸出に仰ぐ傾向を生じこれが一つの原因となつて金組貸出は貸金に對し五千萬圓の貸出超過を來してゐる狀態であるので、金聯では最近開催して行つた全鮮各道支部合同の席上金組の貸出しについて相當考慮すべき旨を金聯當局者より言明する所があつた、尤も金聯の貸出しは農民の經濟に直接關係あるため此點に就ては可なりの關心が拂はれることとなつてゐるが、七月以降の貸出しは從來の增加趨勢を多少抑制することとなるものと金聯當局でも觀測してゐる

京電の水色變電所
京仁電化にも備ふ
十一月には完成

京城電氣會社では送電會社より受電設備として水色に變電所を建設中であるが來る十一月には完成の豫定で、之に要する經費は三百餘萬圓を支出することになつて居る、尚右變電所完成の上は送電會社より受電する十五萬四千ボルトの電力を二萬二千七百ボルトに低下し

一、水色變電所から山を越えて麻水町の變電所へ送るものと
一、水色から唐人里に送電して同所の送電線を利用し泉町變電所に送電するものと
一、水色から梧柳洞變電所に送り京仁沿線への送電をなすものと

右三系統により京仁間の電力需要激增に備へる筈である

朝農秋肥配合
麥原肥の需要激增傾向

朝鮮農會の秋肥配給は六十萬叺の豫定にて前年の三倍に上る見込である、全鮮麥作の施肥にて麥作は小作料と無關係であるのと今まで麥の肥料は閑却せられて居たから肥效が特に目立つのとで農家の麥肥需要は急激に增加せんとしてゐる

六月鹽販賣高
前年比一割餘增

專賣局六月分鹽販賣高は合計二千十三萬一千九百五十瓩で販賣數量に對し七分八厘の增であり前年同期に比し一割三厘の增である、之を各所別に示せば左の如し

新義州百六十五萬千八百八十瓩▲鎭南浦三百七十六萬四千七百四十三瓩▲群山百七十三萬九千四百瓩▲木浦百廿八萬五千四百廿五瓩▲釜山二百十四萬五千八百六十四瓩▲元山二百八十四萬八千四百四瓩▲清津百五十九萬一千七百八十八瓩

ベンゾールの自給を調査
殖產局が研究の準備

染料原料たるベンゾールの製造工業は朝鮮に於ては未だ行はれてゐないが最近に於ける人絹染色工業の勃興は異常な飛躍を遂げつゝあり、それが原料たるベンゾールは内地よりの移入によつてゐるので總督府殖產局では阿吾地の石炭液化工場の操業を機に之れが研究に着手する事となり近く資料を蒐集して本格的試驗を行ふ事となつた

夕刊後の市況

◇…横濱生絲後場引　當　八六八、〇　先　八五一、〇

◇…前井入絹後場引　當　一、四〇　先　八一、四〇

◇…大阪綿絲後場引　當　六二、五〇　先　一四九、六

◇大阪短期引跡氣配

大新　八四、五〇　一〇安
新鐘　一八三、五〇　五〇安
日產　七五、〇〇　不變
新東　一四七、〇〇　四〇安

◇—大阪短期後場　引　高　安
大新　[illegible]
新東　[illegible]
日鐵　[illegible]

◇—東株短期場後　引　高　安
東新　[illegible]
日產　[illegible]

朝取短期後場　引　高　安
明新　[illegible]
鐘新　[illegible]
新東　[illegible]
大新　[illegible]
日產　[illegible]

仁川期米本玉

當　賣　買　中　賣　買
[illegible]

先　賣　方　買　方
[illegible]

實物後場

鮮銀新二一四圓二〇日本デイゼル二六圓五鮮殖四新九〇圓七日曹パルプ二四圓〇

無電台

自動車の物凄い警笛

山々に圍まれて朝夕に仰ぐ京城の眺望は比類なく美しい、それにも拘らずその美しい風景の中から湧き上つてくる電車と自動車の警笛のケタはずれの騷音は、日本の都會の中でも、最も比類なく野蠻である。街頭に立つてみるがいゝ、あれら全能力をあげた警笛は五臓六腑を突くものがある、なるほど京城の交通は麻の如く亂れ、又電車線は人道に接近してゐるし、運轉手諸君も氣が氣でないに違ひないと同情される節がないでもない、しかしそれ以外に、運轉手諸君の強烈な神經が然らしめるのと、も一は文化的ない〻氣持になつてゐはしないかと思へてならぬのである、車馬や、人間に注意を與へるためならあれほど凄い音を鳴らすことはない、まして夜更けた通りや、人通り稀な通りにあつてさへも警笛を鳴らし續けて五十米も疾走して行くのは、いつたいどういふつもりなのであらう

京城のガサ〳〵した喧噪の最大の原因をなしてゐるのは、これらの騷音に外ならぬと思つてゐる、東京ではクラックションを鳴らすことを禁止し、又銀座の電車を轍回せしめよとの聲が起つてをり、京都では府令で騷音防止令があつて、神戸市電では車輪をゴムによつて作る事を試みたりしてゐる、そのやうな神經の中にあつて電車自動車の警笛の全能力を發揮するがまゝに放任して狂音の街となしてをく限り、それは京城の文化水準の低級さを代表してゐるやうなもので、第三流都市以外の何ものでもないのである、觀光祭もあつたものではない、本町で指摘された本町のネオン計畫もまさに愚劣である、鮮銀前廣場の三本の廣告塔も醜惡であるが、それらは本町に行きさへしなければい〻、しかし警笛は京城の中にをる限りどこまでも追ひかけてくる性質のものなのである、周圍の自然や空はこんなに美しいのにこの音響の凄さは何事だと京城を逃げ出したくなつてくる、都會生活に騷音は宿命の前でありながら、諦めきれないのが之らの警笛である、それは不可抗力なものでなく、運轉手諸君の自覺によつて、即日訂正さるべき可能性があると思ふからである、話せば分ると思ふのである、電車は京電當事者が、自動車は警察がそれぞれ注意して頂きたいのである

先日本紙上において音響測定器による騷音取締りの快ニュースを悦びと安堵とを以て迎へたのであつたが、其後一向實施されてゐる樣子のないのはどうしたのだらう、仕事に疲れくたくたになつて與る清浪な府民達をその上喧しい音でいためつけないでもらひたい（青川晉太）

永朗湖の傳說
海濱京日キャンプの會（2）

本社は讀者各位へ奉仕として毎年家族連れに向く樂しい海濱キャンプの會を催し本年を以つて第十二回を重ねることゝなつた

×

近年全國的に叫ばれてゐる、國民體位の向上を目指し政府當局多額の國帑を以つて保健省を新設せんとし、本府としても半島二千萬民衆の保健向上のため各種施設を行ひ就中兒童、學生の體位を向上するためには各種機關を總動員して或は臨海學校、林間學校などを開設して先づ〝日光を浴びよ〟の標語を掲げ機會ある毎に〝海〟に〝山〟に行くことを奬勵してゐる時、本社の試みは各方面の絶讚を受けてゐる

×

本社は從來、全鮮各地の有名な海濱に或は山麓に高原に有益な然も趣味的キャンプの會を開催して來たが、本年は何等かの新味を盛り從來の點より完備したキャンプ地を發見するため、本社通信網を總動員して調査せしめた處、果然、あらゆる點に於て優秀なキャンプ地を發見したので、本社では直に最も關係の深い鐵道當局と協議した結果、鐵道局及び元山鐵道事務所等の係員を加へる調査班を以て交通、地勢、物資供給、水利、衞生その他の點を慎重調査を行ひ、この調査に基き、斯界の權威を加へ更に愼重な審議を行つた結果、本年度のキャンプ地は外金剛に近き永郎莊海濱、詳しく云へば江原道高城郡立石里海岸と決定したのである、こゝは高城驛から約一里の地點である

×

世界の公園として萬國の觀光客の足をさらつてゐる金剛連峰が分岐して東に走り、海に入つて海金剛、海萬物相の勝地となり或は三日浦、赤壁江立石里、永郎湖などの勝地を成し附近一帶は素晴らしい大絶景地として又傳說の地として古今騷勝客の杖を與かしめてゐる

×

このうち永郎湖附近一帶の景は最も優秀で奇岩怪石の山あり、島あり、海あり、湖あり、湖あり、海岸に打つよく白砂、これに配するに翠緑の松林は大自然力の粹とも稱する天然の大庭園をなしてゐる

×

林學博士田村剛氏の言を藉りて說明すれば

山の金剛を離れ、高城を中心として海金剛の海岸に到る地域を見るに、休養觀光の地として稀に見る優秀なる條件を具備するものである、西に大金剛の雄渾なる連山を屏風の如く立廻はし東は海金剛の傑出せる海岸に臨み土地高燥にして赤壁江は東西に貫きて海に注ぎ、三日浦、永郎湖等の明媚な湖は、諸所に起伏する繪の如き山丘を眺らして其の非凡なる風光は獨立して一遊に値するものである、一帶の地は花崗石の銀砂を厚く敷きて頗る清楚なる上に水は清冽無垢、空氣は濟潤にして夏涼しく、冬暖かなる海濱の氣は避暑地としても避寒地と云ふべく、若し將來の健康地としても全鮮中屈指の理想的風景地計畫を樹立してホテル、別莊、運動場、遊園地等の諸施設を完備すると共に散策ドライブ、乘馬、ゴルフ、釣魚、舟遊、水泳等の娛樂施設をなすならば金剛山の觀光地と相俟つて宛然地上の一大樂園を確設することが出來る云々

スポーツ
京城軍大勝
對西鮮庭球戰

兼二浦日鐵庭球部主催全京城軍對全西鮮軍の第一回庭球試合は、十一日午後一時半から日鐵コートで擧行、日鐵松本運動部長の挨拶に次いで、吉田庭球部長の始球式があつて試合開始、西鮮軍よく衞闘したが京城軍の陣營固く左の如き成績で京城軍が大勝した

第一ラウンド

京城（白潤楠・李正玉）0—4 西鮮（岩佐・小山）
京城（落合・先田）4—3 西鮮（李鍾・李源德）
京城（黃基成・孫觀星）4—1 西鮮（徐周遊・金文煥）
京城（嚴灑龍・趙寅錫）4—1 西鮮（松本・田）
京城（洪承杰・朴萬世）4—3 西鮮（大河内・李昌福）
京城（嚴東律・渡邊）4—1 西鮮（金華植・李錫淳）
京城（金時浩・劉駿相）1—4 西鮮（小野・第十）
京城（鄭錫婷・竹澤）2—4 西鮮（洪承杓・木田）
京城（崔永生・朴祖道）4—0 西鮮（李鍾元・[illegible]）
京城（熊林・權碩仁・朴基堂）4—0 西鮮（鈴木・田）

第二ラウンド

京城（落合・先田）4—1，0—4，0—4，4—0，4—0，4—2，4—2 西鮮（岩佐・小山）

兩組とも闘志滿々、落合選手も岩佐選手も決め球の應酬戰だけにゲームは簡單に進み、落合選手の巧球を小山選手が惜くもネット・タッチして落合組が勝つ

京城（黃基成・孫觀星）4—0，4—2，1—4，6—4，4—4，4—6，4—1，4—2 西鮮（小野・第十）

兼二浦のホープ小野選手熱球を放つて京城組に迫つたが、名後衞黃選手の鮮かな球さばきに逐つて恨みを呑む、小野選手がロブによる逃げ道を塞いだら一段の凄味が加はるであらう

京城（嚴灑龍・趙寅錫）5—3，4—2，2—4，6—4，4—1，4—1 西鮮（洪承杓・木田）

西鮮軍の善戰、健闘にも拘はらず京城軍の息もつかせない猛撃に逆つて、討死し、殘るは洪、木田組だけである、孤軍奮戰、嚴選手の猛烈なバック・ストロークを防ぎ、しば〳〵強襲弾を送つたが及ばず、それに木田選手の凡失が加はり遂に四對一に敗れ、こゝに意義ある第一回の全京城對全西鮮の庭球聖戰の幕を閉づ、結局遠征の京城軍は七組を殘し堂々たる記錄を殘し、西鮮球界に好い印象を與へた

中等水上競技

朝鮮學生水上競技聯盟主催の第九回全鮮中等學校水上競技大會は二十四五兩日京城運動場プールで開催する、申込は十八日まで城大水泳部落合時典宛

ドイツ單に二勝す

【ベルリン九日同盟】本年デ盃歐洲ゾーン決勝戰ドイツ對チエッコシングルス二試合を擧行第一日は第一日は九日正午よりベルリンで二—〇でドイツのリードに歸した

ヘンケル（獨）六、七、七—一、五、五（ヘヒト（チ））
クラム（獨）三、四、六、六、六—六、六、四、三、三（メンチエル（チ））

無水用甘藷
種藷を供給し
各道でも奬勵

農產物に依る無水酒精製造計畫は總督府で五ケ年計畫を樹立し本年度からこれが調査に着手したが、これが原料たる甘藷の增產は濟州島開發會社の手で濟州島に栽培すると共に、鮮内に於て作付反別を三萬四千四百町歩に擴充し、各道試驗場から反當十五貫の種藷を配給せしめる方針である

產金二法令案
愈よ特別議會に提出

總督府では產金五ケ年計畫二億圓を目標に愈よ明十三年度から積極的產金助成に乘り出すことになつたが、これに伴ひ產金管理法並に產金奬勵法を制定することになり目下立案中で、右二法は來る特別議會に提出することゝなつた

初荷披露宴

朝鮮郵船の新船第三船興東丸（五〇〇〇トン）は十二日釜山に廻航目下出張中の森社長出席の下に官民多數を招きアットホームを催ふした

小包取扱狀況

全鮮各郵便局所で最近一ケ月間に取扱つた小包郵便物の引受個數は二十二萬三千九百二十七個又配達總數は三十四萬六千九百五十二個で前年比引受に於ては八分、配達に於ては七分を何れも增加

口より入る病を防ぎ
精神を爽快にする／
口中殺菌剤
カオール
衛生口錠
『夏の健康』は本剤の常用にあり！
飲食の後。外出の時。人込に居る時。疲勞倦怠の時。……等に「カオール」の二三粒を服用し病菌を驅逐し元氣一パイ暑さを克服して今夏の健康を保持致しませう。
この際 徳用瓶普及の爲
專賣特許 一〇〇八九八號 意匠登錄既願
携帯用『防濕瓶』無代進呈
進呈方法
徳用瓶五十錢壹圓付れにても壹個御買上の方へ全鮮各藥店にて即時洩れなく進呈致します
KAOL
徳用瓶入 金五十戔は (十戔包の八倍量) 八十戔分
徳用瓶入 金壹圓は (十戔包の廿二倍量) 二円廿戔分
KAOL
カオール
配劑と効用
製劑顧問 ドクトル 松尾道
一、口中殺菌劑を配合す
二、健胃整腸劑を配合す
三、興奮劑及强壯劑を配合す
四、淸凉劑及美音劑を配合す
定價と容量
袋入 (十錢) 百粒
同 (二十錢) 二百五十粒
ポケット容器付 (三十錢) 三百粒
御勾玉形容器付 (五十錢) 五百粒
釣形容器付 (五十錢) 五百粒
光琳蒔繪美術容器付 (五十錢) 五百粒
保健容器付 (五十錢) 五百粒
徳用瓶入 (五十錢) 八百粒
同 (一圓) 二千二百粒
本舗 東京市日本橋區水天宮前 株式會社 安藤井筒堂藥品部
AROMATIC CACHOUS KAOL THROAT EASE BREATH PERFUME

北支の風雲を反映した 非常時下の感激點呼

大學の先生も『一兵卒』の本分に勇む

赤飯配って參加した補充兵

★★★★★★★★★

簡閲點呼の前日、十一日京城師團副官山口大佐執行の下に執行された京城本町署管下在郷軍人の簡閲點呼は、緊迫せる時局を反映して和服着用者が目立つて多く點呼組に終了したが、これら豫備役や未教育の補充兵にも流石『いつでも第一線に飛出せるぞ』と頼もしい覺悟が顔にうかゞはれて執行官を感激させた、點呼の一兵としては教官の職も、高等官に屬する人など云ふ上下の職もないが、最高學府城大に教鞭をとる松本庭夫、中村希男兩氏など一補充兵としてキビ〳〵した動作を示して點呼官の激賞を買つた程だつた、また光熙町二の三五一矢尾雄君は輜重兵特務兵の補充兵で入營出來なかつたが『かうやつて點呼に參加するのは入營と同じ心持だ』と點呼當日は國旗をたてゝ附近に赤飯を配つたなど非常時の點呼に相應しい美談を織込んだ

★★★★★★★★★

武勲の東北勇士 懷しの兵營に歸還

髭はぼう〳〵、軍服は裂け 激戰のあと生々し

【北平十二日同盟】去る八日盧溝橋附近で夜間演習中、突如支那軍の不法射撃を受けこれに應戰爾來四日四晩不眠不休の激戰を續けてゐた北平駐屯の我が東北出身の勇士〇〇〇名、〇〇部隊の來援で始めて戰線を離り十二日朝懷しの兵營に歸つた、數日來息つく間もなく戰鬪した〇〇以下各將士は何れも髭はぼう〳〵と伸び、殿族にまみれて顔は何れも

黄ろく

軍服は泥まみれとなつて激戰のあとを生々しく物語つてゐるが、さすが皇軍の勇士達の士氣は出發に倍加して歩武堂々營門に入り、營門前には居留民が群れ集まつて歡呼を浴びせこれを迎へた、その中には幼い子供達が混つて萬歳を叫び日の丸の小旗を無性に振つてゐるのも感激のシーンだ、營門際に整列して迎へる殘留部隊と默々として進む歸營部隊の互に交はす敬禮の裡に見れば凱旋部隊の中にはつい數日前戰地を出發した戰友の、今は名譽の戰死者となつてそこにもこゝにも北國の見えぬのに殘留戰友の顔は涙に光つてそゝがれる戰友の凱旋と營門前で解散した歸營將士達は近日の戰鬪と興奮に若いだ塔にさすがに疲勞の色も見え殘留戰友達が驅け上つて卷ゲートルをとつてやつたり、泥をふきとつて居るのも激しい戰鬪の模樣、斃き倒れた戰友達の

手柄話

に何時迄も尽きれてゐたが、やがて殘留戰友心づくしの眞白いベツトにもぐり込んでぐつすり、知らず夢は戰場へ懷しの古里か——【岡村中佐は】

銃後のまことを示すは今ぞ

お婆さんと少年の獻金

十二日午後六時頃京城本町署に一人の婆さんが訪れ、北支に働く皇軍のみなさんへと百圓也の小切手を獻金した、このお婆さんは本町二町目帽子商岩見常吉氏の母堂へ【さ】ルさん（七）であつた

×

同日夜八時過ぎ今度は少年が訪れて二圓を獻金したがこの少年は水下町一三南山校五年生川西秋石君「こ」でわざ〳〵貯金を引き下げて持参したのであつた

魚群偵察機 北鮮へ

汝矣島を出發

北鮮における海洋漁業の第一線として、魚群偵察飛行等の操縦する瓦斯電式KR二型一機及びサルムソン二型一機は、夫々十二日午前九時四十八分、同十時七分とに汝矣島飛行場を離陸、清津、咸興の二根據地に向けて出發した

北支事變に躍る

殊勳の牟田口〇隊長 香月司令官の留守宅

（上）十日夜北平郊外の第二次戰鬪において自ら白刃を揮つて敵陣に躍り込み龍王廟を占據した殊勳の牟田口〇隊長（左端）右へ一人置いて河口部隊長（非秋通州附近における駐屯軍大演習の際寫したもの）（下）北支の情勢重大化した折柄、突如支那駐屯軍司令官に補せられ急遽北平に向つた香月中將の留守宅（右より三男良夫君、夫人つるさん、次男秀雄君）

ようこそ・ケラー女史

昨夜盛んな歡迎裡に京城入り

三重苦の聖女、ヘレン・ケラー女史、秘書トムソン夫人及び大阪ライトハウスの岩橋氏夫妻一行七名は十二日午後十時卅五分京城驛着、水原まで出迎へた小田通譯官、金社會教育課長、笠谷基督教青年會々長學務課長を始め女史を讃仰する内外人多數の歡迎裡に下車感激に滿ちた挨拶を交はして直ちに朝鮮ホテルに入つた（寫眞は京城驛着の一行、右からケラー女史、トムソン嬢、秘書は女史の自署）

朝鮮ホテルに怪盗

二階27號室に忍び入り 二百圓盗んでドロン

國際ルートの中心點に當る半島の首都京城は多數のエトランゼー達の旅の疲を慰め、唯一の代表ホテルである鐵道局營の朝鮮ホテルは益々繁昌してゐるが、この半島におけるグランド・ホテルに數日前の白晝二階第27號室に宿泊してゐた平安鐵道會社專務、興南通吉永武揚氏が襲ぶ開く下した部屋においてあつた現金百九十圓入りの財布が消えてゐるのを外出先から歸つて來た吉永氏が發見、驚いて本町署に屆出た、犯人の目星は全くつかず白晝國際ホテルを狙つた不敵な姿なき怪盗の出現にホテル係を戰慄させてゐるが、捜査上に手掛りとなるものは何一つ現場に殘されて居らず通り魔の怪盗として警察當局を慌てさせてゐる

京城驛荒し

京城西部町……

日・滿・支 航空連絡

十三日から 毎日就航

【上海十二日同盟】惠通航空公司は十三日から日滿支航空連絡を毎日就航に決定した

又北極經由 米國へ

ソ聯機飛出す

【モスコー十二日同盟】ソヴエート飛行家グロモフ、ユマシエフ、ダニーリン三氏は十二日午前三時二十一分チエカロフ氏ら三島人つゞ離飛行の壯途についた使用機ANT二十五型と殆ど同型の新鋭機に搭乘、モスコー郊外のジエルコボ飛行場を出發、モスコー、北極、北米への無着陸長距離……

三六九旅館（……）は去る三月から京城驛三等待合室を根城に旅客のトランクや綿布類十件の窃盗を働き十一日本町署に逮捕された

チンピラ泥棒

十二日午前四時ごろ京城社稷町三一一の一五丁海承さん方へ押し入り……

取調べを怨み 警官を刺す

殺人未遂の歯科醫 懲役四年求刑さる

警察官に一回取調べられたのを怨んで勤務中の警官を警察署で刺した水原郡城嶺面烏山里歯科醫者山根……に係る殺人未遂事件公判は京城地方法院で十二日松村裁判長係り吉保田檢事立會で開かれた被告は烏山駐在所長……さんの路上の手當ひから同里駐在所巡査部長……男氏に召喚され就調されたのを深く恨み同巡査殺害の機を狙つてゐたが四月上旬同巡査が鍋路署に轉勤するや追つて上京、本町一ノ一八藥兆金物店で短刀を購入し夜八時ごろ鍋路署の宿直室に勤務中の同巡査を刺したが急所を外れて目的を果さなかつたものである、檢事は懲役四年を求刑、判決言渡は來る十九日

空にあこがれ 花の麗人群ワンサ

凄いエア・ガールの採用試驗 婿さん一人に六十人

航空時代の新職業として登場したエア・ポート・ガールの採用試驗は十二日午後一時府内元町の遞信吏員養成所で行はれた、詮衡委員―赤木遞信航空官、神田日本空輸京城支部長、三宅日本空輸京城營業所長その他記者團立會ひで行はれた、「容姿端麗にして中等教育を受けたもの」といふ誰かしい註文なから結婚用、平常十二四、その他飛行場への朝夕の出勤退出は自用車で送迎といふ飛びつくやうな斬新しい條件とモダンな新職業だけにワンサと押しかけた志願者ザツト六十八、一人々々詮衡委員の前に呼び出されて御面相の品定めと航空知識のテストを受けたが、中には流石の詮衡委員も顔負けする勇ましいお嬢さんもゐた、この結果第一次詮衡をパスした自他共に許す麗人が五人、この中から更に最後の一人が選ばれて、晴れの空港娘として空のお客様の接待にあたることになつた（寫眞はその試驗場）

乞食姿をして 拐帶少年歸る

既報、京城府外新沙面……金融さん長男金一成君（こ）は去る六月十日父親の金百五十圓を持ち出し行方を晦まして以來父親金さんは血眼で探してゐたところ、十二日ひよつこり乞食姿で自宅に歸つて來た、一大飛躍を夢見て持ち出した金は丸一賭博にかゝりすつかり取られ、面目がないので京仁線素砂方面で百姓の手傳ひをしながら乞食をしてみたと父親の前に泣き崩れた

泥醉して亂暴

街から街へ飛ぶ號外を手に七十萬府民が緊張してゐる十一日夜京城長沙町九四飲食店……さん方で酩酊の上手當り次第に暴行してゐる二人連れの男を鍾路署員が調べると、新堂町……外一名で制止する警官にも亂暴を働いた揚句豚箱へ入れられた

『ガッカリした』

力を落して平壤に歸った 謙二ちやんの父 春田博士語る

【平壤電話】咸興へ、愛兒の首實檢に行つた平壤醫專教授春田博士は十二日朝歸壤したが、失望して語る

「わざ〳〵警察からの知らせに取るものも取りあへず飛んで行つて見ると似ても似つかぬよその子だつたのでガッカリしました、經路は昨年瓦焼きをしてみた支那人が平壤で拐帶し賣り飛ばして咸興に來たもので、他人の空では一應は私の子ではないかと思はれるのは無理はありません、しかし誰の子を拐つたのか誘拐したのか知れぬが、あの子も私の子と同様にその親達には氣の毒です」

明大陸上軍

朝鮮に遠征

【東京電話】明大陸上競技部長以下十八選手は朝鮮陸上競技協會、滿洲國體育聯盟及び滿鐵陸上競技部の招聘により十三日午前東京驛發、朝鮮滿洲遠征の途につくことゝなつたが一行の朝鮮における日程左の通り

十五日京城着、十八日對全朝鮮軍（京城）十九日京城發新京へ

永登浦署長

つひに勇退

【永登浦】かねて勇退を傳へられた永登浦警察署長三階宮昇氏はいよ〳〵退職の上帝國舞臺に入ることに決し一兩日中に正式發令の筈である

狂言自殺で 親ぢを脅迫

蜜月旅行無用論に 憤慨した新婚息子

越えて蔵人、オンドル間からレインコートを盜んでまたも塀を乘越えて逃走せんとする男を家人が認め引捕へた、同町三一一の四金丁默氏三男金在悳（こ）で餘罪ある模樣で鍾路署で取調べ中

「同一級の親爺が「俺なんか新婚旅行なんてしなかつたけれど立派にお前みたいな息子まで生んでゐるワイ」とばかり息子の蜜月旅行を許さないのでモダンボーイの息子が死を以て親爺との旅行を脅迫した話——京城仁寺洞路二の八〇宿……商會主京城光化門通り一六〇……君（二）は六ケ月前結婚したが頑固な親爺が新婚旅行を許さず腐つてみたところ昨今の暑さに堪まりかねて愛妻と二人つきりで避暑旅行に出掛けんとしたがこれまた許さないのでそれでは最後の一手と十二日朝八時ごろサルチルサンを飲んで『お父さん僕死にますよ』と脅迫家人を驚がせたが、弄君は鍾路署員の取調べに對し『サルチルサンぢや死なぬといふ事を知つてゐるものですから』と頭をかき〳〵狂言自殺の秘をあかして笑はせた

ひどい花嫁

江原道洪川郡西面生れ伊藤……君子こと徐順愛（こ）は齊藤の伊藤英君と同地に愛の巣を構へて同棲中であつたが、去る五月十日ごろ結婚式の戸籍手續のため郷里江原道に赴いたまゝ音沙汰もないので、待佗びた伊藤君が叔父の平……さんを頼み江原道に迎へたところ『君子は十日前大邱に居る』とて京城に……

金鎖を持つ ルンペン男

十一日夜京城内府町派出所前を行く、ルンペン風の男に不審を感じた鍾路署員が調べると堀上町四二劉科三（……）一（こ）で十金時計鎖を所持してゐるのでその出所を追究中

空家に變死體

十一日午後八時五十分ごろ京城照町一五六の空家で五十歳位の朝鮮人男の變死體を西大門署員が發見したが身元不明

防空映畫會

【汶山】坡州郡では警察署及び郷軍分會と共同主催の下に去る七日午後八時から汶山普通學校講堂で防空映畫會を開催、一般に無料公開した

☆……北支の風雲急を告げる中に行はれた京城の簡閲點呼は流石に時局を反映して猛烈な覺悟と敬禮をしたが、これに相應しい美談を生んだ

☆……京城府民病院に勤務する豫備役歩兵上等兵富川德四郎君は豫備役教育の最終日、郷軍分會長の時局講話に感激して『在職中に昇給したら昇給額だけ國防獻金します』と、その場で申出た

☆……『若しも月給が上つたら』などとヤニ下つてゐる時ではないぞといふ固い決心が嬉しい

☆……【珍名辭典】埼玉縣忍町に若旅小僧さん

けふの天氣

曇、小雨模様

白き手の人々〔96〕

吉屋信子作　一木弴繪

拾ふもの（六）

お愛にさういはれて、取りつく島のなくなつたおまつは、おろおろ聲で、

『は、ごもつともでございます、私が、图々しく此方樣へお世話にならうつていふのは間違つてゐるんでございますから、もう、何とも……』

美奈はさういふおまつの背を叩かぬばかりにして、

『小母さん、そんな氣の弱い事言つちや駄目よ、お母さんが何と言つたつて、私がお世話するから大丈夫よ、今更こゝから何處へ出ていらつしやるおつもり？』

その言葉をお愛が焦れつたさうに引取つて、

『どこへつて、もと／＼猪瀬さんのお邸に御厄介になつてる方なんだから、其處へお歸りになれば好いんぢやないか』

とあてつけがましく言つた。

『お母さん、駄目よ、猪瀬さんのお宅ぢや、出て行けつて奥様が言ひにいらつしつたんですもの』

『へえ、そりやほんとうですか』

お愛がおまつの顔を眺めて見直した。

『は、もう／＼此方が重々悪いんでございますから、奥様が何と仰有らうとあたりまへなのでございます』

おまつがほろりと、膝の上に涙をこぼした。

『だけど、その悪い事つて、いつたいどんな事をしたつていふんですか、あなたが……いつぞや猪瀬さんから伺つたんですが、あなたの亡くなつた御亭主つて方が、お邸の御先代のお身代りになつたんぢやありませんか、それで一生あなたや文吉さんの事を世話するつもりでお邸にお置きになつてゐるつて伺つたと思ひますがね』

『は、さうまでして戴いてゐた御恩に背いて、文吉が、警察へ引張られるやうな事を仕出かしましたので、奥様が大変御立腹で、恩知らずだ、出て行けつて仰有るのでございます』

『へえ、だけれど、御自分の坊ちやんの一彦さんだつてやつぱり警察へ引張られてゐるんぢやありませんか、文吉さんばかりが悪いつてわけぢやないでせうね』

『はあ……一彦様がさうおなりになつたのも皆文吉のせいだと仰有るのでございます、もうそんなに文吉が悪い事をしてゐるのでしたら、私はもう死んでもお詫びするより致し方ないと思ひつめまして……そこへ此方のお嬢さんがおいで下さいまして、いろ／＼御親切に、仰有つて戴きまして、是非一緒に来いと言つて下さいましたものでございますから、悪く意地もなく、かうして伺つたのでございます』

『へえ、猪瀬様の奥様つて方も、案外身勝手な、わからず屋ですね、御自分の子の悪い事まで、みんな他人にかづけようつて、それがまあお金持の我儘なんでせう』

お愛は猪瀬夫人を非難する口吻をはつきり見せた。猪瀬氏との關係からも、その夫人に對しては、何か反抗的な、敵對意識を持つてゐたのが、據を得て現れたらしかつた。

『お母さん、だからもう猪瀬さんへは歸れないのよ、ねえ、家へ置いてあげて下さるでせう』

『さう、譯が分れば、それやあんただつて、今突き離すわけには行かないからね』

お愛の心が動いて來た。

ラヂオ　近衛子の指揮で　二重協奏曲

【7・30】

ヴァイオリン―ミッシェル・ピアストロ
チエロ―ヨーゼフ・シュスター
管絃樂―日本放送交響樂團
指揮―近衛秀麿

ヴァイオリンとチエロの爲の協奏曲　イ短調　ブラームス作曲
第一樂章　アレグロ
第二樂章　アンダンテ
第三樂章　ヴイヴアーチエ・ノン・トロッポ

……クララ・シューマンが「和解の作品」と言つたこの協奏曲には次の様な話がある……

×　×

十九世紀の中頃、ブラームスとシューマン夫妻及びヴァイオリンの巨匠ヨアヒム夫妻との交遊は深かつた。ヨアヒムはブラームスの作品を演奏し、アマリエ・ヨアヒムはシューマンの歌曲を歌ひ、クララ・シューマンは夫とブラームスのピアノ曲を弾く一方、この仲間に對する良き忠告者、批評家であつた、所がこの美はしいグループに暗い影がさす時が來た

一八五六年シューマンが歿し、同八四年ヨアヒム夫妻が或る事情の爲に離婚するや、終始アマリエに同情してゐたブラームスはヨアヒムと絶交してしまつた然しこの爲にヨアヒムはブラームスの作品をボイコットする様なことはしなかつた、それ所か逆に彼の作品に對して力強い友情を惜まなかつた

この絶交は時の経つに從ひブラームスを憂鬱にした。そこで彼は何とかして青年時代の交遊を回復し度いと願ひその和解の手段として一八八七年の夏スキス・ベルンの高地の山獄を望むトウンで作曲したのが「ヴァイオリンとチエロの爲の二重協奏曲」である

同年七月十九日、ブラームスは藝術上のことで報告したい事があると手紙に書いてヨアヒムに送つた折り返しヨアヒムから喜んでその通達を待つ旨返事が來た、七月八月九月と頻繁な手紙の往復と共に次第に二人の友情は昔に戻つて行つた、そしてヴァイオリンはヨアヒム、チエロはハウスマン、指揮は有名なフランツ・ヴユルナー、十月十八日にケルンで初演する豫定が出來た、作曲者と演奏者との最初の顔合せは九月二十一、二日にバーデン・バーデンの昔の友クララ・シューマンの家で行はれた二十一日付のクララの日記には次の様に記されてゐる

『ヨアヒムがブラームス、ハウスマンと一緒に約をした後でやつて來て、夕方、例の協奏曲を演奏してみました。それは全く獨自の作品です。この協奏曲は確に「和解の作品」です。ヨアヒムとブラームスは年來これで始めて口をきいたのです』

聖・ケラー女史

府民館より講演……中繼……

【四、二〇】來朝中の聖女ヘレン・ケラーは朝鮮教化團體聯合會の招聘に依り昨夜秘書トムソン女史並に岩橋武夫氏夫妻を帶同して入城朝鮮ホテルに投じたが、けふ午後二回及明十四日夜の三回講演會を開催する、そのうち今日午後四時二十分より京城府民館に於て教育關係者並社會事業及教化事業關係者に對して行ふ女史の講演をDKでは全鮮に中繼するが、彼女がその家庭教師サリベン女史の手で如何にして盲聾啞の三重苦を克服し惠まれざるもの丶世界に偉大なる光明を點ずるに至つたかを彼女自らの口から親く聽くことが出來やう（寫眞はケラー女史とトムソン女史）

講演　故齋藤子爵を偲ぶ

7,30

貴族院議員　柴田善三郎

柴田氏は故齋藤子爵が朝鮮總督時代學務局長として、又齋藤内閣には書記官長として日夜その人格に接し、故子爵の人柄を最もよく知る方であります

今回子爵に縁故の深い朝鮮に於て記念事業計畫打合せの爲來鮮されしを機會にマイクの前に立ち子爵のありし日を偲び講演を放送されることになつたのであります

ラヂオ隨筆

一、白象

矢田部保吉

（矢田部氏は特命全權公使現在歸朝中）

シヤムは黄衣を纏ふた僧侶の數が多いところから黄衣の國とも呼ばれ、又白象を神聖視する風習のあるところから白象の國ともいはれてゐる。白象といふのはどのやうなものであるか、白象に關する風習の二三について簡單な話をして見たい

二、頓智秀逸

佐々木邦

（佐々木氏は元慶應義塾大學教授でユーモア作家として著名な方）

逸話や笑話に出て來る頓智機智を話さうと思ふ。お互の間にも洒落を言ふ人、奇抜なことを言ふ人が多い。世の中にユーモリストは決して尠くない。ユーモア文學者はユーモアの商人だから時に無理がある。お互に無報酬でユーモアを樂しむものこそ本當のユーモリストである私は商賣として研究してゐる立場から自分が最も感心してゐるユーモアと機智の秀逸を五つ六つ紹介したい

京日特選棋譜(10)

五段　小澤了正
先相先　四段　荒木親吉

（棋譜）第百三十三より百四十九迄

早尙祝賀會　覆面道人

濟邊なら大漁祝ひ

昨日の盤面は、左側に黑百三十三と、其下の白三子を取つたところ。そして本日の白百三十四は其下白百三十八と、その上の黑一子を抱き込み、それで上邊左右が貫通して、まるでトンネル開通式みたいな、白の祝賀會である。それが濟邊なら大漁祝ひといふところ。

彼我地域優劣論

白が歡聲に溺つ祝賀會とは、白百三十八の時、上面から右側に亘る白地は、左邊の黑地と同様に見られる。即ち下邊二ヶ所の白地だけ、白に勝つてゐるやうである。なほ次に黑百三十九と圍つても、黑地は十目位は増加するだらうが、結局白から（い）と、それを占めて、白は敗けないと云ふ豫想も出來る。

皮算用禁物

しかしまだ／＼取らぬ狸の皮算用、取らぬ狸の皮の豫約販賣は禁物、若し取れなかつたら大變。それは以下黑百四十九と成つて、小澤君の祝辭は早尙を理由に、暫つゝみは打てない、と云ふわけで不参加不惑、と云つたわけ。

推奬の打方

さて白百三十六で（ろ）と覗き次に黑が（ろ）のすぐ上を粘ぎながら、白は百三十九の所へ尖むか、或は百三十九のすぐ左に斜走かの黑地減少策も、白に惡くはなかつた。それは次に黑が百三十七の所へ粘いでも、其方の黑は容易に治まらない事もあつて、黑が百三十六の時、白は左側へなほ侵入といふ次第である

今日のプロ

十三日（火）第一放送

午前六時（東）體操
同六時三〇分（東）英語講座（三十九）
同七時一分（東）朝の修養　觀音經講話（五）　清水谷恭順
同八時五分（東）孟蘭盆會法要（第一日）…曹洞宗大本山總持寺より中繼…
同九時二〇分（城）氣象通報（清津はローカル）
同九時五五分（東）衛生メモ
同一〇時三〇分（大）母の講座　復習のお相手　奈良女高師助教授　市川三代
同一一時（東）幼兒の時間　童話物語　夕やけ小やけ　滿空こども會　伴奏バロマ合奏團
同一一時一五分（城）衛生講演（朝鮮語・釜山）流行する赤痢について　醫博　晉宙鉉
正午（東）時報外
午後零時五分（城）物語　涙の審判　史郷
同零時三〇分（東）國民歌謠　獨唱　木下　伴奏・AKアンサンブル
同零時四〇分　ニュース
一、旅人二、新綫道唱歌
同二時（仙）（秋）（山）小學生の時間「第五」奥羽めぐり（仙台）仙台市連坊小路校兒童（秋田）秋田縣女子師範附屬校兒童（山形）山形縣師範附屬校兒童
同二時三〇分（大）婦人の時間　鐵の話　神戸商大助教授　田中　黨
同四時　ニュース（氣象通報・釜山・清津）
同四時二〇分（城）ヘレン・ケラー女史講演會―京城府民館大講堂より中繼―（教育關係者並に社會教化事業關係者に對する講演）ヘレン・ケラー　通譯　ポリー・トムソン　岩橋武夫
同六時（東）講演　國際文化とエスペラント　醫學博士　淺田一
同六時三〇分（東）子供のための和洋合奏（京城）若葉和洋合奏團
一、故郷の思ひ出　二、盆踊　三、夏の子供
同六時三〇分　獨唱とハーモニカ（釜山）
合奏並伴奏　釜山高等小學校ハーモニカバンド
獨唱　近久富子
編曲並指揮　牛島亮輔
一、合奏　故郷を離るゝ歌　二、獨唱　旅愁　三、合奏　兵士のための行進　四、合奏　さくらさくら
同六時三〇分　童謠唱歌（平壤）
同六時三〇分（清津）一、ハーモニカ獨奏　一、方弘銀　二、永田清徳
同六時五〇分（東）コドモの新聞
同六時五五分（東）カレントトピックス
同七時　ニュース外
同七時三〇分（城）講演　故齋藤子爵を偲ぶ　貴族院議員　柴田善三郎
同八時（東）獨唱　ベルトラメリ能子　伴奏　津田あやめ
一、歌劇「フイガロの結婚」より　二、舟唄　三、セレナード　四、「ニーナ」　五、三人の鼓手　六、眞白きトスカーナ地方民謠　七、「リスペッテイ・トスカーニ」より、のどかな春の日
同八時二〇分（東）二重協奏曲
ヴァイオリン　ミッシェル・ピアストロ
チエロ　ヨーゼフ・シュスター
管絃樂　日本放送交響樂團
指揮　近衛秀麿
ヴァイオリンとチエロの爲の協奏曲イ短調　ブラームス作曲
第一樂章　アレグロ　第二樂章　アンダンテ　第三樂章　ヴイヴァーチエ・ノン・トロッポ
同九時（東）ラヂオ隨筆
一、白象　矢田部保吉
二、頓智秀逸　佐々木邦
同九時三〇分（東）時報・ニュース外
同九時五〇分（城）地方へのニュース（朝鮮語・釜山・清津）
同一〇時（城）地方へのニュース
レコード―浪花節―（京城は第二放送）

第二放送

午前一一時一五分　朝鮮語講演

あすの聞き物

十四日（水）

午前八時五分（東）孟蘭盆會法要（二日）―淨土宗大本山增上寺より中繼―
午後零時五分（名）浮世節　立花家橘之助外
同六時　婦人と經濟　鳥本千鶴
午後零時五分　伽倻琴散調と併唱　晉宙鉉
同四時二〇分　（ヘレンケラー講演）　趙永學
同六時三〇分　お話「蓄音機とレコード」　王熙錫
同七時　要視察外講話　趙羲成
同八時　趣味講演　崔南善
同八時三〇分　流行歌　鮮于一朗
同九時　漫談三國演義（一）　庾秋岡
同六時二〇分（大）童謠劇　金魚のひつね　大阪ラヂオオーケストラ
同六時三〇分（城）兒童と先生の時間（第二放送・京城・平壤）京城荏子里普通學校
同七時　ニュース外
同七時三〇分（大）講演　轉換期にある我國經濟　經濟學博士
同八時（東）俗曲　小花外
同八時一〇分（東）尺八　一、鉢返し　宮川如山外
同八時二〇分（城）歌謠曲（京城・釜山）山際喜外
午後八時二〇分　琵琶（平壤）二〇三高地　江原旭園
同八時二〇分　謠曲（清津）藤戸　五十嵐如水
同八時四五分（城）俚謠　山崎長太郎
同九時（東）講談　め組の喧嘩　八兵衛　神田山陽

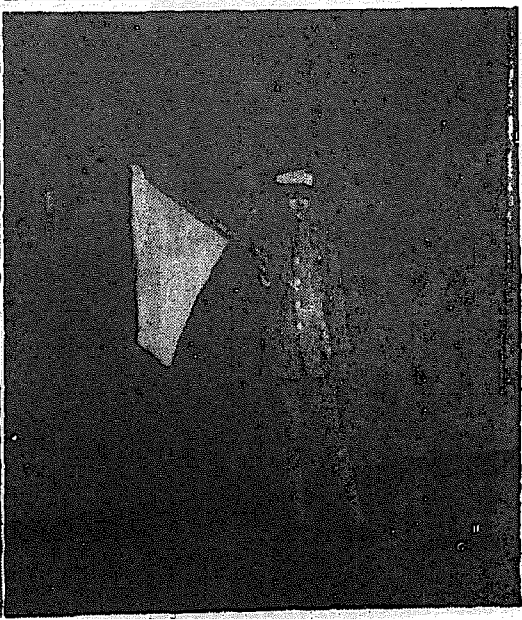
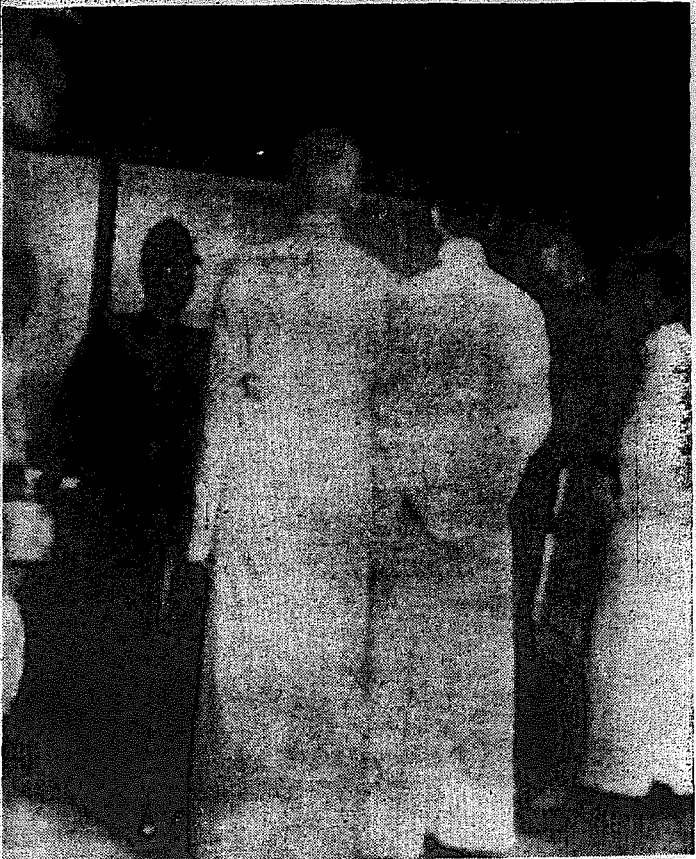
京城日報

昭和十二年七月十二日

第二號外

發行所 合資會社 京城日報社
電話本局(2)一一八一番
振替京城 三〇〇番
印刷人 小川[illegible]之介

盧溝橋事變畫報（裏面にもあり）

【上】龍王廟附近村落にて休養中のわが軍 【下右】事件發生の翌日七月八日午前十時半日本軍より宛平縣城内にある日支共同調査員に宛てた手紙を白旗を掲げて送つて來た支那の巡警【下左】宛平縣城外盧溝橋の支那軍兵營附近で哨戒中の廿九軍兵士

日支兩軍激戰中

豊台より一線に向はんとした

我軍を支那兵が阻止

【上海十三日同盟】十三日午後一時支那側の報道によれば　豊台から第一線に向はんとした日本軍を支那兵が阻止したことにより衝突、目下激戰中であると

日支兩軍愈よ衝突か

【天津十三日同盟】十三日午前十一時半頃遙か南方より銃砲聲頻りに聞え　日支兩軍が衝突したのではないかと見られる

宋哲元が一戰決意

各將領に開戰準備を命す

【天津十三日同盟】有力なる支那筋からの情報によると冀察政務委員長宋哲元氏は遂に日本軍と一戰を交へる決意を固め、昨夜部下各將領に開戰準備を命じた

增援部隊到着前に至急攻勢に出で近代兵器を有する日本軍に對しては努めて晝間の戰闘を回避し夜間戰を選ぶやう命令した

我軍の到着前に攻勢に出る!

宋哲元が密令す

【上海十三日同盟】確實なる方面に達した情報によれば、宋哲元氏は十二日夜中央に對して武器彈藥及び軍資二百萬元並に中央航空隊の第二十九軍援助を要請すると共に、麾下各師長に對して日本軍

徐州に飛行機集結

【天津十三日同盟】津浦線で天津に到着した旅客の談によれば目下徐州には中央軍飛行機の大部隊が集結中であると

寫眞　【右】支那側代表と某地點で會見中の河邊〇隊長　【左】永定河右岸支那軍陣地濠の中に立つ廿九軍兵士

本號外は本紙に再錄致しません